

平成29年度 行政評価表

担当課	住民課
章名	第5章 町民と行政が協働するまちに暮らす
節名	第3節 経営的視点に立った行政運営
施策名	1. 効率性の高い行政運営

施策の内容	目指す姿	安定した自治体経営ができる行政運営の仕組みが整い、あわせて質の高い行政サービスが提供されています。
	現状と課題	町の行財政を取り巻く環境は厳しさを増しています。限りある財源を効率的に運用し、町民が満足できる行政サービスの提供が必要です。 これまで本町では、行政改革や事業評価の導入等により、事務の効率化に努めてきました。今後においても、社会経済情勢の変化や厳しさを増す財政状況を踏まえ、行政改革をさらに進め、その中で選択と集中を徹底し、戦略的な行政経営を目指す必要があります。また、図書館の相互利用や消防指令センターの共同運営など、これまで周辺自治体との連携事業を進めてきましたが、今後はさらなる連携を検討する必要があります。

まちづくり目標値	指標名	現状(平成25年度)
	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	

目標値への推移		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	目標(平成31年度)
	(1)					
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	27,259	25,794	9,235	0	0	16,559

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		住民や戸籍等の異動処理、証明書発行、パスポート事務、マイナンバー事務等の事業について、住民サービスの向上が図れたと思います。 特にマイナンバー事務については定期的に土日の交付事務を実施するなど、住民ニーズに沿った対応をしています。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	人口増加はゆるやかになり、年少人口が減少し、高齢者人口の増加が見込まれます。外国人の住民基本台帳登録者の増加に併せ、外国人の戸籍届出も増加しています。また、パスポートやマイナンバーカードに伴う来庁者も増加しています。
	住民ニーズの変化について	ライフスタイル等の変化に伴い、住民ニーズも多様化しているため、より、きめ細やかな住民サービスが求められています。
	展開した事業は適切であったか	住民生活に欠かせないものである住所や戸籍等の異動処理、証明書の発行、パスポート事務、更にマイナンバー事務等の事業により、住民サービスの向上が図られました。
	施策を達成するうえでの障害について	マイナンバー制度の開始に伴い、交付事務以外にも新たに発生しているカード所有者の住民異動関係事務の事務量増加に対応するため、事務の効率化を検討する必要があります。また、マイナンバーカードの交付申請後、交付手続きをされない方が多いため、引き続き休日交付の機会を確保します。併せて、マイナンバーカードについて住民の方に周知するとともに、新たな利用促進のための事業展開を図る必要があります。

次年度以降における施策の具体的な方向性	コンビニ交付の実施に向け、準備を進め、併せて、マイナンバーカードの普及・利用促進を図ります。 コンビニ交付事業に併せ、出張所業務について検討する必要があります。 パスポート業務について、周知・広報に努め、利用者の利便性の向上に繋がります。 多様化する住民ニーズに応えられるよう、丁寧で正確かつ迅速な対応に努め、よりよい住民サービスの向上を目指します。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	町を取り巻く状況や住民ニーズの変化に的確に対応するため、「前例踏襲」や「現状維持」という発想からの意識改革を図りながら、効果的かつ効率的な事務執行に取り組んでいます。
----------------------	---